

Project PLATEAU 事業推進に向けての情報提供依頼 (RFI#1) (2024年度) 実施要領

1. 背景・目的

都市デジタルツインの実現を目指し、国土交通省が様々なプレイヤーと連携して推進する Project PLATEAU (プラトー) では、2020年度のスタート以降、そのポテンシャルを示すことに焦点を当て、様々な分野におけるソリューション開発やコミュニティ育成、技術開発等に取り組んできた。

これまでの取組みによって 3D 都市モデルの可能性が明らかになりつつある現在、PLATEAU はプロトタイピングのフェーズから、実際に「役立つ」具体的なサービスを実装するフェーズへと歩を進める必要がある。

そこで、2025年度では、国主導の推進体制から国、地方自治体、民間企業、研究機関等の多様なプレイヤーがそれぞれのイニシアティブで取組みを進める「PLATEAU エコシステム」の本格構築に向けた施策を講じていく。

RFI#1 では、都市デジタルツインの社会実装がもたらす“未来”を具体化していくため、7つのテーマでプロジェクトのアイデアを募集する。

2. 募集テーマ

本 RFI では、以下のテーマごとにアイデアや提案を募集する。

(1) データカバレッジの拡大

3D 都市モデルのデータ整備・更新を推進するため、標準データモデルの拡張やデータ整備手法の効率化等を進める企画

(ア) 企画類型

A. 標準データモデルのメンテナンス

ニーズを踏まえた仕様拡張、最新の国際知見の取り込み等の標準データモデルのメンテナンス

B. データ整備手法の効率化

AI 自動生成技術の開発・実装等の効率的なデータ整備手法の開発

C. データ高度化・価値向上

BIM、空間 ID 等との連携性強化、属性情報（都市計画基礎調査）の充実等のデータ価値（有用性）の向上

D. データ整備モチベート

データ保有都市の優位性の可視化、データ整備プロセス支援等の自治体のデータ整備モチベーション向上

E. データ整備ケイパビリティの拡大

測量・3Dモデリング等の地域企業を含む国内のデータ整備人材・産業のケイパビリティ向上

F. データハンドリング技術のOSS化

品質検査、データ変換、データ解析等のコアとなるデータハンドリング手法の国産技術開発・オープンソース化

(イ) 重視するポイント

①ニーズ

3D都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決や新たなサービス創出に資する取組であること。

②イノベティブ

技術・サービス、事業・ビジネスモデル等の面で、先進性や独創性のある取組であること。

③フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、技術・サービス開発や社会実装に向けた実現性を有するものであること。

④オープン

取組の成果は原則としてオープンなものとし、広く産学官民の各主体により活用できるようにすること。

(2) ユースケース開発

3D都市モデルを活用した社会課題の解決や新たな価値創出を実現するソリューション開発の企画

(ア) 企画類型

G. 先進技術活用型ユースケース開発

新たな技術を用いたサービス開発等の先進的なユースケース開発のベストプラクティス創出

H. 先端技術研究型ユースケース開発

GISやシミュレーション技術等のPLATEAUのコアとなる技術の中長期的なR&D

I. 社会実装型ユースケース開発

ベストプラクティスやPLATEAUナレッジ等を活用した実装レベルのサービス開発の促進

(イ) ユースケースの要件

Project PLATEAUが提供する3D都市モデルを利用したサービス開発であること。3D都市モデルの特徴である①都市スケールの広域で提供されるデータであること、②建築物や構造物等の三次元形状が品質管理された状態で利用可能であること、③形状のみならず属性情報を保持すること（セマンテ

イクス)といった点をうまく活用できる企画であることが望ましい。

(ウ) ユースケースの分野

- ①防災・防犯
- ②都市計画・まちづくり
- ③環境・エネルギー
- ④地域活性化・観光・コンテンツ
- ⑤モビリティ・ロボティクス
- ⑥インフラ管理
- ⑦その他

(エ) 重視するポイント

①ニーズ

3D 都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決や新たなサービス創出に資する取組であること。

②イノベーティブ

技術・サービス、事業・ビジネスモデル等の面で、先進性や独創性のある取組であること。

③フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、技術・サービス開発や社会実装に向けた実現性を有するものであること。

④オープン

取組の成果は原則としてオープンなものとし、広く産学官民の各主体により活用できるようにすること。

(3) コミュニティ形成

3D 都市モデルに関する国内の技術力向上、開発参加者のすそ野拡大、ナレッジ共有等のためのコミュニティ形成を進める企画

(ア) 企画類型

J. ムーブメント惹起

情報発信や開発イベント等のコミュニティ形成施策など、PLATEAU の認知向上、参加プレイヤーのすそ野拡大

K. 地域発コミュニティの形成

自治体、地元企業、地域コミュニティ等が主体となる開発イベントの実施等の地域発コミュニティの形成

L. 民間人材開発

トレーニング提供、アクセラレーションプログラム等による民間の PLATEAU 人材の拡大

M. コミュニティ拡大

スタートアップ、エンジニア、アカデミズム等のコミュニティへのすそ野拡大

N. 非エンジニア層の育成

プロダクトデザインや政策活用等をテーマとしたワークショップやアイデアソンの実施

(イ) コミュニティ形成の分野

- ①情報発信・情報交流
- ②イベント
- ③アイデアソン・ハッカソン
- ④コミュニティプレイス
- ⑤人材育成
- ⑥その他

(ウ) 重視するポイント

①ニーズ

3D 都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決に資する取組であること。

②フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、社会実装に向けた実現性を有するものであること。

(4) サービス実装

実装レベルの 3D 都市モデルを活用したサービスの開発・事業化・提供を促進する企画

(ア) 企画類型

0. ニーズ・シーズマッチング

自治体や民間企業のサービス開発ニーズ収集、シーズを持つ技術ホルダとのマッチング等のサービス事業化

P. 地域発サービス創出

自治体や地元企業が主体となった、日常業務に貢献するサービス創出

(イ) サービス実装・提供の分野

- ①情報発信・情報交流
- ②イベント
- ③アイデアソン・ハッカソン
- ④コミュニティプレイス
- ⑤人材育成
- ⑥その他

(ウ) 重視するポイント

①ニーズ

3D都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決に資する取組であること。

②フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、社会実装に向けた実現性を有するものであること。

(5) 地域のデジタルケイパビリティ向上

自治体職員や地域コミュニティ、住民、地域企業等がデータを用いて課題解決を行うための知識やスキル、技術の普及を促進する企画

(ア) 企画類型

Q. 自治体のデジタルケイパビリティ向上

地域コミュニティと連携したデジタル研修やWS等の自治体デジタルケイパビリティの向上

R. 自治体ネットワーキング

導入自治体や関心自治体等が相互に情報交換や連携ができるようなネットワーキングの強化

S. リビングラボの形成

市民を含む地元のコミュニティ発・自治体連携による地域の課題解消

(イ) 地域のデジタルケイパビリティ向上の分野

①情報発信・情報交流

②イベント

③アイデアソン・ハッカソン

④コミュニティプレイス

⑤人材育成

⑥その他

(ウ) 重視するポイント

①ニーズ

3D都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決に資する取組であること。

②フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、社会実装に向けた実現性を有するものであること。

(6) オープン・イノベーション創出

PLATEAU実装へのブレイクスルーをもたらすシーズ開発の支援など、イノベーションの創出を促進する企画

(ア) 企画類型

T. データアクセシビリティの向上

PLATEAU VIEW 開発、PLATEAU SDK 開発、データ配信・DL サービス開発など、PLATEAU のデータを活用しやすい環境の整備

U. 開発ナレッジの蓄積・展開

サービス開発に必要な技術情報を集約し、技術資料、OSS、サンプルアプリ、プラグイン等を公開するなど、PLATEAU の開発ナレッジを共有

V. 環境障壁の除外

サービス実装の障壁となる制度的課題等の洗い出し、解消

(イ) オープン・イノベーション創出、シーズ提供の分野

- ①情報発信・情報交流
- ②イベント
- ③アイデアソン・ハッカソン
- ④コミュニティプレイス
- ⑤人材育成
- ⑥その他

(ウ) 重視するポイント

①ニーズ

3D 都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決に資する取組であること。

②フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、社会実装に向けた実現性を有するものであること。

(7) エコシステム構築

地方公共団体、産業界、大学等の研究機関、地域コミュニティ、国等が連携し、3D 都市モデルの実装を促進する体制を構築する企画

(ア) 企画類型

W. 産官学連携 PF 構築

多様な企業、地元企業、スタートアップ、研究機関等の幅広い産学官の主体が連携・協同開発・成果共有等をする場の構築

X. 国際展開

日本発の 3D 都市モデル技術をベースとした国内産業の国際展開、国際標準へのコミット、国際連携等

Y. 補助事業の管理支援

「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」(PLATEAU 補助金) の執行管理の支援

(イ) エコシステム構築の分野

- ①情報発信・情報交流
- ②イベント

③アイデアソン・ハッカソン

④コミュニティプレイス

⑤人材育成

⑥その他

(ウ) 重視するポイント

①ニーズ

3D 都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決に資する取組であること。

②フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、社会実装に向けた実現性を有するものであること。

3. 応募者の要件

応募者は、法人、または、法人に属する個人とする。個人の場合は、所属する法人のルールに沿って対応いただきたい。

また、応募者は前項の各募集テーマに係る取組の実施主体となりうる者とする。

反社会的組織またはこれに属する者でないこと。

産（企業・事業所、業界団体等）、学（大学・研究機関等）、民（NPO 法人等）等、幅広い主体からの提案を期待する。

4. 募集期間

令和6年6月24日（月）から令和6年7月26日（金）まで

5. 情報提供の方法

1) 応募書類

「応募様式」に必要事項を記入の上、2) 提出方法に記載の方法にて提出すること（補足説明資料の添付も可）。

また、情報提供の内容毎にファイルを分けて提出すること（複数のテーマの情報提供や1つのテーマで複数の情報提供をする場合は、シートを増やさず、ファイルを分けて提出）。

2) 提出方法

10. に示すメールアドレスまで電子メールで送付すること。

なお、応募書類全体の容量が10MBを超えないように注意すること。

6. 情報提供資料の取扱い

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省都市局により、Project PLATEAU の2025年度以降の事業や調査・研究のテーマ・内容等の検討のための

参考資料として活用する。

なお、本 RFI で情報提供されたものを国土交通省都市局の事業テーマとして取り上げるようになった場合、あらためて業務等の公募等を行う予定である。このとき、RFI で情報提供を行った者が必ず採択されるものではないことをご承知いただきたい。

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省都市局のみの取扱いとし、そのまま対外的に公表することはしない。ただし、一定の整理を行い、提案者に確認をとったうえで公表する可能性がある。このため、特に、公知情報ではないものについては、関係者の了解を得たうえで情報提供いただきたい。

情報提供内容に関し、応募者が保有する知的財産権（著作権、特許権等）は、応募者に留保される。

応募者の個人情報については、本 RFI の目的に沿って適切に管理する。

7. その他留意事項

- ・ 情報提供に係る費用はすべて応募者が負担するものとする。
- ・ 本 RFI の対象以外の施策・事業等に関する一般的な意見・提案等は受け付けない。

8. 説明会の開催

本 RFI に関して、以下のとおり、情報提供を検討している又は今後検討を行う予定である事業者等向けの説明会を開催する。

1) 開催日時

令和6年7月2日（火）13:00～13:30

2) 開催場所

オンライン形式（Microsoft Teams）

3) 参加申込み

説明会の参加を希望する方は、令和6年7月1日（月）15時までに、下記フォームよりお申込みください。期限までにお申込みいただいた方のメールアドレスにオンライン開催の URL を送付させていただきます。

<https://forms.office.com/r/k4HrjdLRyy>

9. 参考資料

Project PLATEAU の概要やこれまでの取組成果等については、以下 URL のウェブサイト等を参照いただきたい。

- ・ PLATEAU 2024 年度事業に関する報道発表資料（2024/5/9）
https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000133.html
- ・ PLATEAU ウェブサイト

<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

- ・ PLATEAU ユースケース紹介記事（随時アップデート）

<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/>

- ・ PLATEAU テクニカルレポート

<https://www.mlit.go.jp/plateau/libraries/technical-reports/>

- ・ 3D 都市モデル標準製品仕様書

<https://www.mlit.go.jp/plateaudocument/>

- ・ PLATEAU 補助事業ウェブサイト

https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_hojo.html

10. 資料提出および問い合わせ先

情報提供資料の提出および本件に関する問い合わせの連絡先は以下のとおり。

本 RFI に関する質問及び回答内容については、必要に応じて、質問者が特定できないかたちで整理の上、「FAQ」としてウェブサイトに掲載する。

https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_rfi2025_01.html

国土交通省都市局国際・デジタル政策課 担当：竹腰、中村、細萱、春名

T E L 03-5253-8422（直通）

電子メール hqt-mlit-plateaurfi2@ki.mlit.go.jp

以上